

栗 2025夏号 だより 栗

紫陽花の咲く初夏の季節を迎えました。

組合員の皆様におかれましては益々お健やかに過ごしのことと存じます。

我々訪問介護事業所は何処もヘルパーの高齢化、人材不足など苦境に立たされています。

そんな中昨年度、栗は特定事業所加算Ⅱを取得し事業所運営に少しですが寄与することができました。

更に、今年度は介護職員等処遇改善加算の取得を目指していきます。

ヘルパーの働く環境を改善させ、より良いサービスを提供出来ますよう努めてまいります。

今後ともよろしくお願いいたします。

<< 近 況 報 告 >>

- ・5月23日（金）に栗の第19回通常総会が開かれ、2024年度の事業活動と決算、2025年度事業方針と予算が賛成多数で承認されました。
この新年度を新たな気持ちで利用者様により良いサービスを提供できますようメンバー一同頑張っていきます。
- ・令和6年度に介護保険制度の改定で訪問介護の基本報酬が2～3%引き下げられましたが、総合事業（要支援1，2）の基本報酬は引き上げられました。
また、特定事業所加算Ⅱを取得し訪問介護基本報酬が10%加算されました。
- ・コミオプ事業（自費）は物価高騰で低下する運営状況を改善するために、この4月から利用料金を1時間当たり1700円に改定させて頂きました。
福祉クラブ生協が進める「地域のたすけあい」として介護保険制度では提供できない分野で非営利組織として家事・介護サービスをその地域で快適な生活を支援するためにコミオプ事業を行っています。

*** 2024年度活動報告 ***

福祉クラブ生協の重要課題は組合員及びメンバーを増やす組織の拡大です。その為の情宣活動で情報誌への募集広告やチラシ撒きをしました。その結果、組合員の加入は7名でメンバーの加入は2名でした。

ケア活動時間は下表の通りで、3つのケア合計目標 4650 時間に対して、実績は 4329 時間 12 分で達成率は 93.1%でした。この中で、訪問介護が目標を超えることが出来ました。それぞれのケアの利用者の1年間の延べ人数はコミオプ 366 名、訪問介護 89 名、総合事業 190 名でした。

毎月の理事会・定例会を実施、地域包括支援センター訪問、10月19日に多摩区民祭に参加しました。赤い羽根共同募金の街頭募金活動、等を行いました。

	2024 年度活動時間 (H)		
	年間目標	実 績	達成率 (%)
コミオプ (自費)	2900	2458:00	84.8
訪問介護	800	969:56	121.2
総合事業	950	901:16	94.9
合計	4650	4329:12	93.1

家事介護担当メンバーの資格状況

資 格 名	人 数
介護福祉士	2
看護師	1
実務者研修修了者	1
ヘルパー 2 級 (初任者研修修了者)	5
川崎市くらしサポーター	5

*** コミオペケアについて ***

乗は介護保険制度に該当しない生活支援、例えばエアコン清掃・窓拭き・植木の水やりなどのサービスを「コミオペ」と呼んでいます。ご利用料金は利用者様のご負担となります。

その本来の意味は「コミュニティ・オプティマム福祉」で地域に暮らす人々にとって最適な水準の福祉です。

乗は住み慣れた地域でいつまでも快適に暮らし続けていけるよう、コミオペと介護保険制度の一体運営で利用者皆様の生活全般を支援しています。ですので、コミオペは利用者様にとっては実に使い勝手の良いサービスなのです。

しかも利用料金は福祉クラブ生協として「お互いさまのたすけあい」精神の元に設定されています。

これからもますますこのコミオペケアをご利用下さいますようお願いいたします。

小田急線ウォールアート

登戸駅近くの川崎信用金庫の斜め前くらいの小田急線高架の壁に書かれた壁画です。

ご存じの方も、また通りすがりにちらっと見る方も、近くを通ってもそれほど気が付かない方もいるかと存じます。

これは川崎市と小田急電鉄との「小田急沿線まちづくり」協定に基づいて、小野さんと宮田さんの絵画作家により描かれたものです。よく見るとユーモアたっぷりて何か心がほんわかと軽快になりますね。

車とか自転車だつて通り過ぎてしまいますから、ぜひ散歩がてらにじっくりと鑑賞されることをお勧めします。



<< 新人紹介 >>

この度” 栞 “にヘルパーとして入職しました小宮です。

コロナ発生まで看護師として働いてきました。訪問看護師、デイ・サービス等の仕事をしていましたが体調の都合上辞めていました。しばらく医療の現場から遠ざかっていましたが現場に戻りたい気持ちがありました。

でも、やはり体力的な迷いがありどうしようかと思っていたところ” 栞 “の募集を見て” ヘルパー “の仕事に関心を持ちました。訪問看護時、ヘルパーさんと一緒にすることもあり、今まで介護については看護の一環として位置付けていました。

ですが、実際に入ってみると” 料理・掃除 “等、よそ様のお宅で行なう事はあまり得意ではなく現実では迷っています。

よく分かっていなかったと言うのか、生活介助として施設内の働きと違いリズムや物品の配置などに慣れるのに大変さを感じています。

現状は私自身若くはないので動作が鈍いところがあります。

ご利用者の動きに寄り添って行動できたらと思っています。

(小宮 フジ子)

<< 理事長から >>

5月に「情報公表制度の訪問調査」、6月に「運営指導」が指定権者の川崎市当局から立て手続きに訪問調査・指導が入りその資料の準備で多忙を極めました。

通常は報告だけで済むのですが、このような対面でのことは4～5年に1度です。

「情報公表制度」は運営情報をネット上に公表する制度で、介護サービスに関して、各種マニュアルが整備されているか、研修の記録の有無、サービスの実施記録の保存、健康診断の実施など多岐にわたって公表されていることに相違がないか調査されます。

「運営指導」は介護給付対象サービスの質の確保及び保険給付が適正に行われているかを調査されます。介護保険料や国の税金が使われているので運営指導はかなり厳しいものです。是々非々、より良いサービスが提供出来ますよう頑張ります。(原 拓己)

働く仲間大募集

- ◇ 年齢、資格、性別は問いません！ 60～70代の男女が活躍中
- ◇ 初めての方もブランクのある方も大歓迎 資格取得支援制度あり
- ◇ 1日1時間～OK！ 空いている時間を地域のために活かしませんか